

華西口腔医学院 サマーキャンプに参加して

附属病院口腔外科准教授 柳井智恵

四川大学華西口腔医学院は国際交流を目的に、今年のサマーキャンプから海外の歯学生を受け入れることを企画した。まず最初の試みとして、日本からは姉妹校である日本歯科大学の学生二名と、タイのチュラーロンコーン大学の学生二名が招待された。今回のサマーキャンプには、生命歯学部五年生の恩田裕香さんと新潟生命歯学部五年生の岡嶋邦矩君が派遣され、私は同行教員として四日間同行した。

本学の一行は、七月八日に成田空港から北京経由で四川省成都市に向けて出発し、成都空港では華西口腔医学院の解剖学教授、項先生が出迎えてくださった。翌日は華西口腔医学院を表敬訪問し、担当者からキャンプの内容説明を受けた。前半の日程は華西口腔医学院の学生との交流が主だが、後半は中国各地から学生がこのキャンプに参加するの

名は早速、華西口腔医学院の四年生と一緒に夏期



中国口腔医学博物館のエントランスで記念撮影



ウーンむずかしいな、刺繍の実習に挑戦

実習に参加し、ワイヤーペンディング、歯型彫刻、ピンセットで針を把持して刺繍するなどの実習を体験した。ピンセットを使った刺繍は、臨床実習前の学生が手の器用さを磨くために考案されたと言われ、さすがに中国らしい実習だと感心した。午後には海外から招いた講師による講義が開講され、タイ・マヒドン大学口腔生化学 Seriwatanachai 先生の講義の後、私も講義を行った。

居である杜甫草堂、三国時代の諸葛亮を祀った武侯祠、パンダ動物園や三星堆博物館などを観光し、中国の歴史や文化に触れることができた。また学生の案内で古街である錦里を見物し、小吃(飲茶料理)で舌鼓したほか、四川名物の火鍋をも満喫した。七月十六日に中国各地から六十名の学生がこのキャンプに集合し、開会式が行われた。

翌日には、学生による各大学の紹介が行われ、恩田さんは英語で、岡嶋君は流暢な中国語で本学を紹介した。また周院長の要望により、二人は登院実習で学んだ患者さんへの接遇を実演し、中国の学生から賞賛を得た。キャンプ最終日には各校対抗の技能コンテストが行われ、日本歯科大学は二等賞を獲得した。その後、閉会式で修了証が授与され、キャンプは終了した。翌日七月十九日に学生は項教授の見送りで日本への帰途に着いた。今回、前半の日程では四川省の記録的な豪雨に見舞われたが、後半は天気が回復し無事に修了することができた。

成都でのサマーキャンプに参加した学生は、多くの学生との交流や親睦をはかれたことや、中国の歴史や文化の造詣を深める機会が得られたことで、大変勉強になったとの感想を述べていた。二人にとって、人生で掛けるがえない貴重な経験が得られたことと思う。貴重な機会を与えてくださった関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

議長等を長年にわたり歴任。また歯科器械などの工業分野でも、国際規格を国内に導入し、その普及に貢献したことが、今回の表彰となった。十月三日、東京千代田区の都市センターホールで表彰式が行われた。

東京・臨床基礎実習室を全面改修 7本階

登院前実習に、最新鋭PCとマネキンを配置



▷学生一人に一台のモニターで確認しながら実習できる



中原泉学長と実習責任者の岡田智雄教授



患者ロボット・シムロイドの反応を確認中

施設見学では、教育棟や病院を案内され、一日の来院患者数が約三千人と聞いて驚いた。また、昨年、新潟の医の博物館と姉妹館を提携した中国口腔医学博物館を見学した。その間、教員や学生が付ききりで案内してもらい、とても親切に説明していた。また、周学東院長主催の歓迎会では、陳宇教授および叶玲教授も同席され親睦を図った。歓談の中で、周院長は華西口腔

医学院が中国国内の歯科大学の評価では一位の座を獲得していること、また四川大学に入学する一万名の学生のうち、成績のトップテンが入学するために優秀な人材に恵まれていることを、誇らしげに話されたのが印象深かった。七月十一日に私は所用のため、一足先に帰国した。その後、学生の報告によると、週末は項教授の案内で唐の詩人杜甫の旧



日本歯科大学での学生生活について中国語と英語でプレゼンテーション

小倉名誉教授、経済産業大臣表彰
経済産業省では、工業製品の標準化推進活動に優れた功績を有する人材を表彰する「工業標準化事業表彰」を毎年実施している。本学の小倉英夫名誉教授(歯科理工学・前新潟



△第58回富士見祭パンフレット

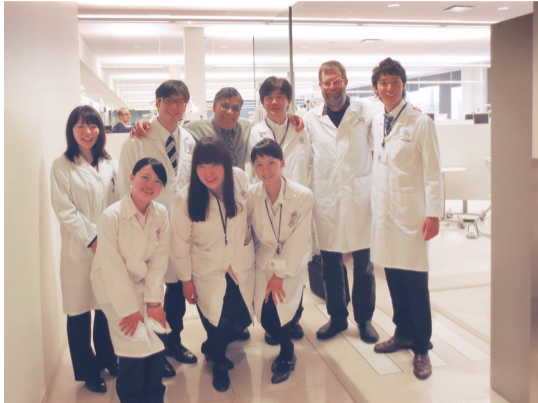
華西口腔医学院教育棟玄関前に全員集合



第26回 姉妹校交換学生



UW歯学部副部長のChan先生をかこんで



臨床基礎実習などを見学したU B C 附属病院



箱根観光では日本の美しい風景を楽しんだ



U B C ・Shah先生のホームパーティに招かれる



新潟のフェアウェルには東京からも参加者が

大学の姉妹校交換学生制度は、姉妹校等の訪問と研修を通じて、国際交流への啓発と国際的視野の涵養を目的として、一九八六年(昭和六十一年)に始まった。毎年春にアメリカ・シアトルのワシントン大学(UW)およびカナダ・バンクーバーのプリティシユコロンビア大学(UBC)を、本学の生命歯学部と新潟生命歯学部の五年生から選ばれた六名の学生と同行教員一名が訪問し、夏にU B Cからの訪問学生を受け入れることで、相互に研修と親睦を図る本学独自の教育システムである。



グランビルアイランドでジャンプ!



U B C 歯学部長のShuler先生を訪問



生命歯学部長主催のランチオンパーティ



そろいの浴衣姿で新潟祭り・民謡流しへ



日本から寄贈された桜が咲くU B C キャンパス

派遣と受け入れ 総計三六六名に

今年は、三月九日から二十三日までの日程でU WとU B Cを訪問した。三月九日は、現地時間の午前十時にシアトルへ到着した。学生たちは、三月十日の午前二時、中央滅菌室を見学し、またU Wの学生教育システムやアメリカの歯科医師国家試験と免許制度についての説明を受けた。さらに、U Wキャンパス内の見どころとして、

三月十日の午前二時、中央滅菌室を見学し、またU Wの学生教育システムやアメリカの歯科医師国家試験と免許制度についての説明を受けた。さらに、U Wキャンパス内の見どころとして、

三月十日の午前二時、中央滅菌室を見学し、またU Wの学生教育システムやアメリカの歯科医師国家試験と免許制度についての説明を受けた。さらに、U Wキャンパス内の見どころとして、

三月十日の午前二時、中央滅菌室を見学し、またU Wの学生教育システムやアメリカの歯科医師国家試験と免許制度についての説明を受けた。さらに、U Wキャンパス内の見どころとして、



中原市五郎先生の銅像の前で

三月十日の午前二時、中央滅菌室を見学し、またU Wの学生教育システムやアメリカの歯科医師国家試験と免許制度についての説明を受けた。さらに、U Wキャンパス内の見どころとして、

三月十日の午前二時、中央滅菌室を見学し、またU Wの学生教育システムやアメリカの歯科医師国家試験と免許制度についての説明を受けた。さらに、U Wキャンパス内の見どころとして、

三月十日の午前二時、中央滅菌室を見学し、またU Wの学生教育システムやアメリカの歯科医師国家試験と免許制度についての説明を受けた。さらに、U Wキャンパス内の見どころとして、

交換学生

二〇一三年度姉妹校交換学生は次の通り。
(日本歯科大学)

生命歯学部 上井 達絵
上井 達絵

新潟生命歯学部 湯本 愛美
湯本 愛美

阿部 佑加
阿部 佑加

太田 琴美
永沼慎一郎

(プリティシユコロンビア大学)

Mr. Peter Cao
Mr. David Chen

Mr. Steven Huang
Mr. Michael Tsai

Mr. Kevin Urness
(同行教員)

長谷川優(新潟生命歯学部歯科矯正学講座講師)
Dr. Azar Grakoui
Dr. Pouvan Rostamian

翌六日からは、新潟生命歯学部や新潟病院の見学を中心に、弥彦神社、岩室温泉などを観光し、新潟祭りにも参加した。初日の九日は民謡流しで新潟甚句を踊り、十日は市民神輿を担ぎ、最終日の十一日は信濃川河畔で花火を見上げ、新潟の夏を満喫した。
今回の交換留学でU WとU B Cを訪問したこと、そして日本でもU B Cメンバーと一緒に過ごしたことは、学生たちにとって非常に良い経験となった。姉妹校交換留学プログラム実施にご尽力いただき、貴重な機会を与えて下さった関係者の皆さまに心より御礼を申し上げます。
(同行教員・長谷川優)

